

# 湯殿山・姥ヶ岳周辺山スキー

T野

2024年2月3日-4日

メンバー： T野・A原・I崎・Y科・K井・H口Y・S木



「天気は良さそうだけど1週間以上まともに雪が降っておらず、パウダーは期待できない乗鞍岳周辺と、天クラはCで景色は期待できないけど、パウダーが期待できる湯殿山・姥ヶ岳周辺、どっちがいい？ ちなみに僕はパウダーに1票！！」場所選びはこんな感じで始まった。嬉しいことに反対意見はなく、今週は湯殿山・姥ヶ岳周辺の森でパウダーを楽しむことになった。宿はA原さんが探してくれた大井沢温泉にある「民宿大原」に決定！！町営の大井沢温泉が¥300で利用できる上に、布団なし、夕食付きで格安で泊まることができた。

ということで宿も決まって一安心。2/2の夜、T野車とH口車に便乗して出発。「道の駅米沢」で仮眠。

2/3

5:30に起床して、志津温泉に向け出発。途中、西川のセブンで朝食と買出しを済ませて志津温泉の除雪終了点へ。結構車が停まっているが地元の車が多い。ほとんどが一人1台なので車が多い割に山は静かだ。今日は湯殿山に向かう。

■写真上 いつもの標識の前で。

■写真中 これは去年の2/4、同じ場所で撮影。今年は2m以上雪が少ない。

■写真下 石跳川も基本埋まっていない。

すぐにいつもの道路標識があるが、去年は手が届くくらい近かったのに、今年はストックを伸ばしても全然触れない。去年と比べて少なくとも2m以上雪が少ない。寂しい限りだ。こんな調子だとGWに遊べる場所はホント限られるだろう。ただ、少ないとはいえ、そこは豪雪の湯殿山、滑るには全く問題ない雪量は



ある。ただ、石跳川は埋まっておらず、渡れる場所も限られる。いつも渡っている場所は、雪が溜まる場所なのか問題なく右岸に渡ることができた。

尾根に取り付き登って行くと快適なブナ林が広がる。居心地の良い森である。多少の悪天でもこの森の中なら充分楽しめる。いやむしろ、天気が悪い方が、雪が生きていて気持ちがいいかも・・・！！湯殿山は1250m付近が森林限界。その上はホワイトアウトで滑っても楽しくないので今日はここまでする。

まずは南西斜面をブス沼に向かって標高差200mほど落とす。日当たりの良い斜面なので、晴れて気温が上がるとパウダーは期待できないのだが、今日は、お日様は顔を出さず、雪模様でいい感じのパウダーが溜まっている。樹間も広く、傾斜も滑りごろの超快適斜面！！最高だ！！森の中のあちこちで、メンバーが喜びを雄叫びで表現している。あっという間にブス沼まで滑り、気持ち良かったので、当然のように「もう1本おかわり！！」と登り返す。

東方向に登って自分達がつけた登りのトレースに合流、先程の終点1250m付近まで登り返す。今度は先程滑った斜面のやや東寄りを滑るがこれも良い！！緩急変化に富んだ斜面が続き、カワクルミ沼付近まで標高差約300m！！大変美味しゅうございました。

■写真上 石跳川渡渉点にて。

■写真中 ブナの疎林にて休憩。

■写真下 超快適！！

この後は登りのトレースに合流してボブスレー。勢いをつければほとんど漕がずに滑って行ける。ネイチャーセンターのあたりが、



やや登り気味で少し漕いだが、あとは順調に除雪終了点まで滑って今日は終了！！楽しい1日でした。

その後、大井沢温泉の宿に向かって、温泉割引券をゲット！！冷えた体を温泉で温める。ジワァーとお湯が体に沁みて気持ちいい！！そして宿に帰って宴会。夕食は月山山菜ソバメインで多くの山菜や漬物が並び、美味しかった。さらに、布団なしのはずだったが「布団も毛布もぜひ使ってください！！」とスゴク親切。おかげで9時間爆睡できて翌日も元気満々！！



■コースタイム

除雪終了点 (8:35) ~ (9:45) 尾根取付き ~ (10:45) 1250m付近 (11:01) ~ (11:10) ブス沼 (11:25) ~ (11:55) 1250m付近 (12:10) ~ (13:00) 除雪終了点



■写真上 滑り終えて休憩中！！

■写真中 宿で宴会！！

■写真下 お世話になった「民宿大原」

2/4

今日は姥ヶ岳の森で遊ぶ。昨日同様、志津温泉の除雪終了点に車をデポ、昨日に増して車が多い。少雪ゆえ、皆ここに集まってくるようだ。例年なら、月山湖周辺の八ツ楯山辺りもこの時期人気なのだが、今年に行く



人はほとんどいない。「今日は混みそうだな」と思って出発するが、トレースは全て湯殿山に向かっていて、姥ヶ岳方面はノートレース、「ラッキー！！」

軽いラッセルを交代でしながら姥ヶ岳南尾根を登る。この辺りも見事なブナの疎林で滑りも最高に楽しそう。この時期、このエリアは良い斜面が目白押し、森も美しいし、楽し過ぎてクセになる。ホント毎年でも訪れたいところである。

標高が上がるにつれ、ブナの梢には氷雪が付き、もし青空ならきっと。絶景が広がるであろう。ベタ曇りの今日でさえ、氷雪に耐えるブナは十分に美しい。

さて、姥ヶ岳は湯殿山より上部まで樹林があり、1350m付近まで登って滑降準備をする。この南尾根も最高！！標高差 350m、幸せの絶叫タイム！！最高のパウダーが楽しめた。「これは今日も当然おかわりでしょう！！」と再び登り返す。



■写真上 氷結ブナ！！

■写真中 1350m付近で休憩中。

■写真下 快適な姥ヶ岳南尾根の滑降！！



今度は、下山が近い1285mの標高点を目指して登る。結構な急斜面でキックターの練習には良い斜面だ。1285mまで登るとすぐそばに姥沢のリフト乗り場が見える。「へえー、こんなところに出るんだ！！」春、リフトが動けば、車2



台をネイチャーセンターと姥沢にデポすれば、リフトの終点から姥ヶ岳の山頂に登り、南尾根を石跳川に滑れば、ほとんど歩かないで標高差 1000 m 近い滑降が、その気になれば 1 日に何回も楽しめそう。月山越えが悪天候で難しい場合に覚えておいて損のないルートである。

さて、今日の 2 本目は多少硬い場所やうねりもあり、滑りにくい場所もあったが概ね快適。ただ、ルート取りが少し悪く、石跳川に出る手前で平坦地にでてしまい、そこでのスキー漕ぎがちょっと鬱陶しかった。次回滑るときは一考を要した方が良さそう。とはいえ、たかが知れている程度であるが・・・。

■写真上 気持ちいいぜ！！  
■写真下 滑降を終えて満足感！！



このルートを滑ると石跳川のかなり下流で合流するのであつという間にネイチャーセンターが見えてくる。昨日も辿った勝手知ったるルートなので、スキーが止まりそうな平坦地の前では勢いをつけて滑り、昨日より楽にほとんど

漕がずに除雪終了点まで滑り込むことができた。除雪終了点に着くと、救急車やレスキュー隊が大勢いて、山の中で何か起きたようで物々しい雰囲気であった。翌日、A原さんからのラインで、湯殿山の東斜面で靱帯を切って動けなくなった人がいて、その人の救助だったことが分かる。我々も気をつけよう。

今回、2 日間ともいい雪に恵まれて、実に気持ちのいい滑降を楽しめた。良い森と良い宿、それに良いメンバー！！いつもながら楽しい 2 日間でした。

#### ■コースタイム

除雪終了点 (7:40) ~ (8:35) 姥ヶ岳南尾根取付き (8:45) ~ (10:12) 1350m 付近 (10:26) ~ 南尾根滑降 ~ (10:38) 1000m 付近 (10:50) ~ (11:47) 1285m 標高点 (12:01) ~ (12:40) 除雪終了点